

# 高松市立多肥小学校 体力向上プラン

## 【学校教育目標】

### 自ら考え 心豊かに とともに生きる子どもの育成

めざす子ども像 自分をみがく子 人とかかわる子 未来をひらく子

## 【本校の課題】

- 県平均を上回ったのは、108項目中41項目で、前年度より4項目増加したが、女子のソフトボール投げ（投力）、20mシャトルラン（持久力）については、県平均を大きく下回っている。
- 児童数に対して、運動できる環境が限られているため、自ら運動する児童とそうでない児童の運動習慣・運動に対する意欲に差がある。
- 「運動が嫌い」と答えた児童の「1週間の総運動時間」が少ない。

## 【現状】

休み時間には、元気よく外で遊ぶ姿が見られるものの、児童数に対して活動場所が限られているため、児童の運動への意欲・意識だけでなく運動量に差が見られる。

体育の授業では、運動への意欲を高めるためにクラスマッチなど、他と競争する楽しさを味わわせている。

## 【取組】

### 体力番付への参加

様々な運動に触れられるようにするため、一輪車や竹馬、鉄棒などを自由に使用できるように整備する。また、2、3学期には、運動チャレンジカードを作成して、体育委員による検定を行い、優秀な成績者には賞状を渡したり、放送で紹介したりすることで、意欲を喚起、継続できるように計画する。

### クラスマッチの実施

運動会（競争遊戯・徒競走など）・球技・なわとびで年3回程度、基本3年生以上の学年で実施する。団結して運動に取り組むことの楽しさや勝敗を競い合う楽しさを味わわせ、運動する楽しさを実感させる。

### 基礎体力の向上

新体力テストの結果を分析し、各学年で重点指導項目を設定する。さらに自己ベストをめざし、授業の始めに基礎体力向上の取り組みを行う。準備運動や補強運動を通して基礎体力の強化を図る。

学年	重点指導項目
1年生	ソフトボール投げ
2年生	20mシャトルラン
3年生	20mシャトルラン
4年生	ソフトボール投げ
5年生	ソフトボール投げ
6年生	ソフトボール投げ

## 【目標】

- 望ましい運動習慣を身につけさせるために、児童が自分の興味や必要性から運動を選択し、取り組めるようにする。
- 運動する楽しさ・大切さを味わわせ、80%以上の児童が運動に対して肯定的な意識をもち、運動時間を確保できるようにする。
- 新運動場などを活用し、限られた場所でも安全に活動できる場所を整備し、保障する。